



君は僕を、
強くも
弱くもする

あの空を おぼえてる

竹野内豊 水野美紀 広田亮平 吉田里琴 小池栄子 中嶋朋子 品川祐 / 小日向文世

監督: 富樫森 企画・製作: ソニー・ミュージックエンタテインメント / サンダンス・カンパニー提携作品
製作: 古澤寿斗 / 木村典代 製作総指揮: 北川直樹 プロデューサー: 藤田義則 原作: 「あの空をおぼえてる」ジャネット・リー・ケアリー著 (ポプラ社刊) 脚本: 山田耕大
撮影: 中澤正行 照明: 木村匡博 美術: 中澤克巳 録音: 野中英敏 編集: 森下博昭 音楽: 中野雄太

主題歌: 『いつか離れる日が来ても』平井堅 (DefSTAR RECORDS)

挿入歌: 『月とラクダの夢を見た』『夏祭り鮮やか』中山うり (Sony Music Japan International Inc.) 「あの空をおぼえてる」フィルムパートナーズ: ソニー・ミュージックエンタテインメント / ポプラ社 / 研音

制作協力: フェロービクチャーズ 配給: ソニー・ビクチャーズ エンタテインメント www.anosora.jp 特別協力: NTTコミュニケーションズ ©2008 「あの空をおぼえてる」フィルムパートナーズ

特許

みんな泣いて、強くなる。

子どもが思うほど、親は強くなく——、親が思うほど、子どもは弱くない——。

写真館を営む雅仁は妻と息子、英治と娘に囲まれ、笑い声の絶えない幸せな毎日を送っていた。しかし、最愛の娘を突然失い、悲しみのあまり、父親として家族をいたわる余裕も無くしてしまう。立ち直れない両親を英治は励まそうとするが口に出して伝えるのは容易ではない……。家族はどのようにして、悲しみを乗り越え

ていくのだろうか——。辛い現実を受け入れられない父の弱さ。それを気づかい、悲しみに一人で耐えようとする子どもの優しさとたくましさ。父、母、息子…3人の涙の数だけ強く生きようと前を向き、家族の絆を深めていく姿に、どんな時でも希望を忘れずに生きていくことの大切さを教えられる。

熱く、切ない涙を誘う父親役を竹野内 豊が好演。

父親、雅仁を演じるのは竹野内 豊。「こんな時代だからこそ、こういう家族の映画を作りたい」と出演を決意。01年の『冷静と情熱のあいだ』以来2本目となる待望の主演作。娘を失った父親の苦悩や喪失感を迫真の演技で見せている。家族を明るく包みこむ母親、慶子には、『踊る大捜査線』(98)などを経て、近年は舞台でも活躍の水野美紀。英治には、『涙そうそう』(06)、『マリと子犬の物語』(07)の名演技でも注目を集めた広田亮平。愛らしい妹、絵里奈には、吉田里琴。さらに、小日向文世、小池栄子、品川 祐、中嶋朋子など、多彩な顔ぶれが脇を固めている。監督は冨樫 森。長編デビュー作『非・バランス』(01)をはじめ、『ごめん』(02)、『星に願いを。』(03)などでも登場人物の感情を繊細に表現、その演出力は高く評価されている。



平井 堅が主題歌を提供。 ラストの余韻をさらに深める——心に響くメロディ。

主題歌は、平井 堅がこの映画のために書き下ろした『いつか離れる日が来ても』(作詞・作曲・歌：平井 堅/Def STAR RECORDS)。「大切な人を想う強さと優しさ」をテーマに創られた詞とメロディが物語のエンディングを情感豊かに飾り、深い余韻を添えている。

劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です。
映画盗撮の情報提供は
www.eigakan.org
0120-550098
*映画館に付く。実行委員会 違法対策室



ウェブサイト <http://sonypictures.jp/>



4月26日(土)よりロードショー!
前売鑑賞券絶賛発売中!!

●一般券 ¥1,300(税込) ※一部劇場を除く

新宿バルト9
ユナイテッドシネマとほえん
TOHOシネマズ錦糸町
川崎チネチッタ

丸の内TOEI②
ユナイテッドシネマ豊洲
MOVIX 亀有
MOVIX 本牧

シアターN渋谷
お台場シネマメディアージュ
ワーナーマイカルシネマズ飯橋
109シネマズMM横浜

池袋シネマサンシャイン
品川プリンスシネマ
平和島シネマサンシャイン
TOHOシネマズららぽーと横浜

T・ジョイ大泉
TOHOシネマズ西新井
TOHOシネマズ川崎
ワーナーマイカルシネマズ洗心ニュータウン